VGCU-3052（H）+VKCS-5052（H）型-R（単棟）

建築面積	40.66m²（12.30坪）	（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）

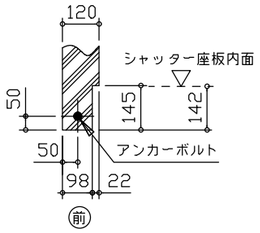
構造耐力上主要な部分の部材

部材名	形状	板厚	使用材料	有効細長比
前柱	-85 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	70.0
後柱	-115 × 115	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	55.0
中柱（左右）	-85 × 84	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	76.6
補強柱	-85 × 44	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	134.7
桁前	-336.5 × 79	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中	-181.5 × 69.5	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁中補強	-180 × 48	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁後	-155 × 85	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
桁後補強	-138.5 × 85	2.3mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
壁パネル	-25 × 701(350.5)	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC	
ブレース	―――	7.0φ	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
ターンバックル	―――	7.0φ用	JIS A5541建築用ターンバックル胴 STKM	
アンカープレート	―――	6.0mm 9.0mm	JIS G3101一般構造用圧延鋼材 SS400	
桁前（PU）	-228 × 49.5	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
桁（PU）	-194 × 49.5	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	
桁補強（PU）	-194 × 36.5	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	
梁（P）	-287.5x139	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	
前柱(P)・後柱(P)	-85x118	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	165.9
中柱(P)	-85x145	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC	151.5

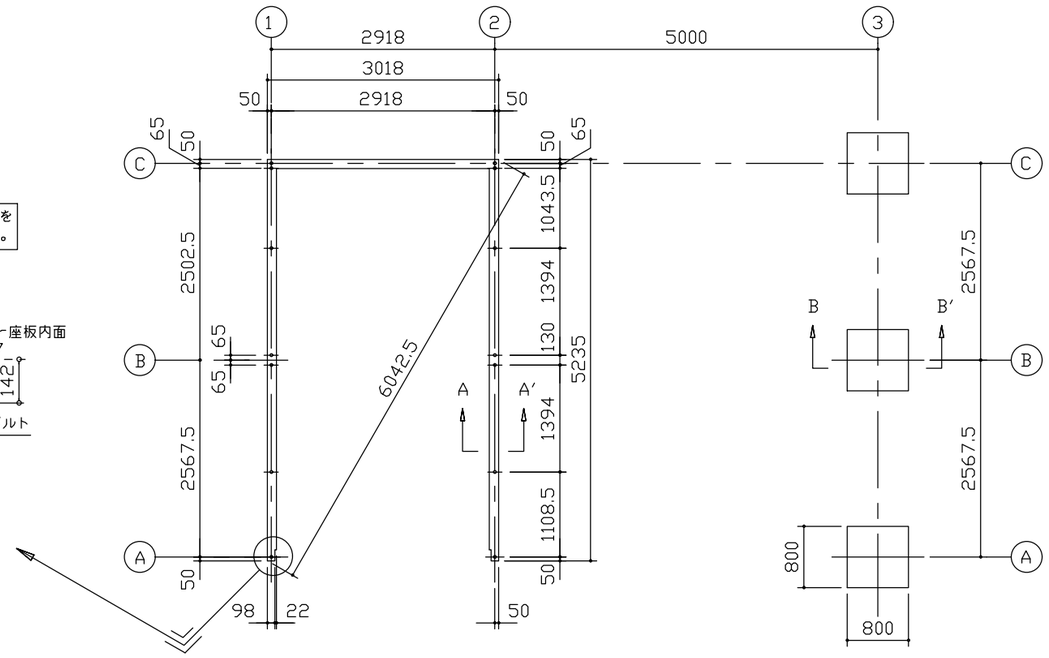
構造耐力上主要な部分以外の部材

部材名	形状	板厚	使用材料
上枠	-430 × 55	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
下枠	-81 × 64	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
中柱カバー	-26 × 145	1.0mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
間柱	-31 × 24	1.2mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
屋根	-88 × 600	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
シャッタースラット	-14.5 × 71	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
鼻隠し前	-130 × 113	0.6mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板 CGLCC
ケラバ	-130 × 135.5	0.5mm	塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛めっき鋼板（ツートンカラー）

シャッター降下面は土間を水平に仕上げてください。



シャッター部分詳細図
（ S =1/20 ）



布基礎伏図（S= 1/80）

◦布基礎断面図　縮尺=1/20

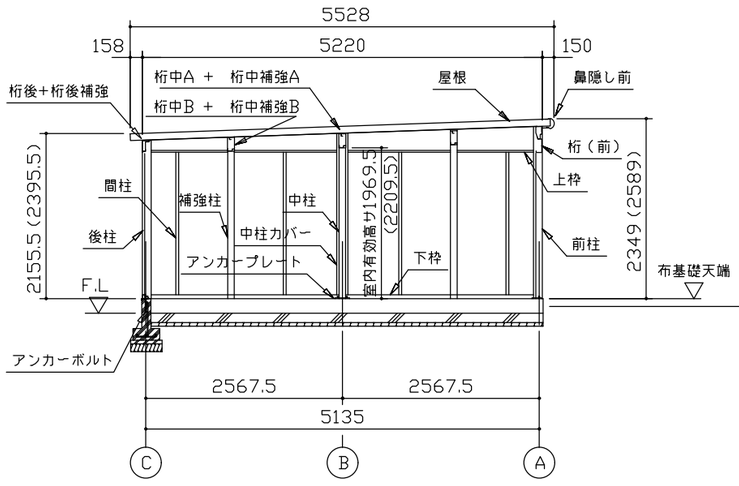
（地耐力　50KN/m²以上,コンクリート設計基準強度　18N/mm² 以上
基準風速 34m/s ，地表面粗度区分Ⅲ）

＜上記条件での参考図です。＞

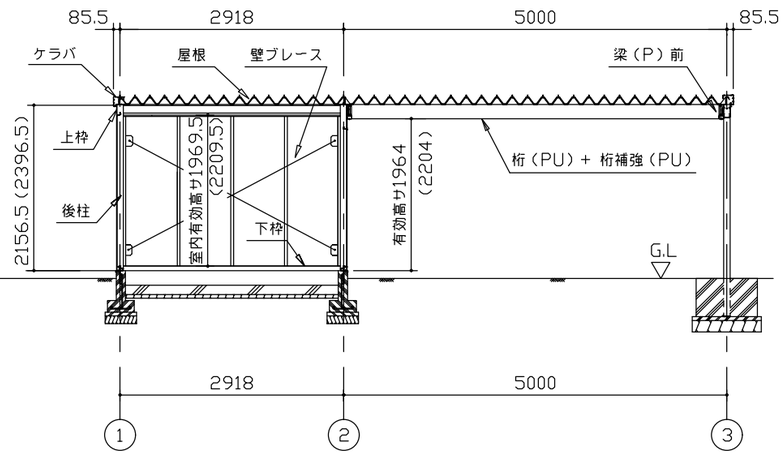
注１)地耐力が 50kN/m² 未満（30kN/m² 以上）
　　の場合は、地耐力に応じた基礎を設計して下さい。

注２)寒冷地の場合、凍結深度等を考慮し、実情に
　　あわせて設計して下さい。

注３)その他現地の実情にあわせて設計して下さい。

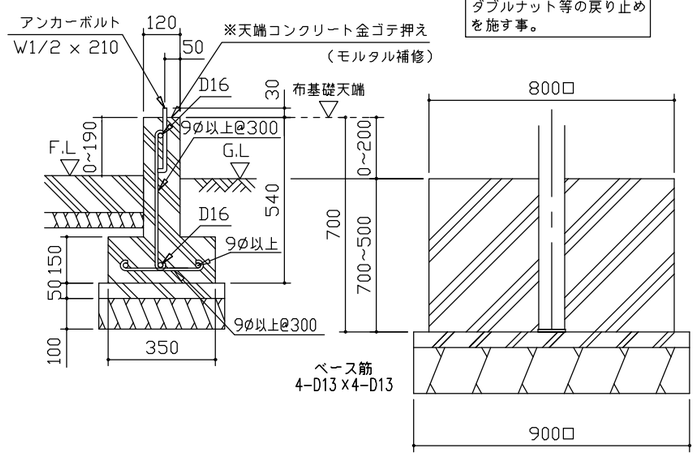


側面断面図（S= 1/80）



正面断面図（S= 1/80）

アンカーボルトの止結は、ダブルナット等の戻り止めを施す事。



B ～ B′断面

名称	ヨドガレージ ラヴィージュⅢ	株式会社 ヨドコウ
機種名	VGCU-3052(H)+VKCS-5052(H)型-R(単棟)	